入園の前に

すくすく・のびのび かんなみっ子

～遊びは 心の栄養～

函南町・函南町教育委員会

【町　立】春光幼稚園　丹那幼稚園　二葉こども園　間宮幼稚園
みのり幼稚園　自由ケ丘幼稚園　西部保育園

【組合立】若葉保育園

【私　立】ひまわり保育園　函南さくら保育園　仁田マーガレット保育園
保育所グローアップ函南園　仁田ふじさん保育園　はなみずき保育園

園での生活の流れはどのようになっていますか？

1号認定は、幼稚園、認定こども園(幼稚部)をいいます。2号・3号認定は、保育所・認定こども園(保育部)、地域型保育をいいます。

下の表は生活の大まかな流れを示しています。保育時間は、認定区分により異なります。また、保育短時間認定と保育標準時間認定では、保育を利用できる時間、保育利用者負担額が変わってきます。各園のことは、「保育所等入園のしおり」をご覧ください。

認定区分		保育時間
保育園（2号・3号認定）	A園	保育標準時間 7：15－18：15
		保育短時間 8：30－16：30
	B園	保育標準時間 7：15－18：15
		保育短時間 8：30－16：30
		保育標準延長時間 18：15－19：00
		保育短時間延長時間 7：15－ 8：30 16：30－18：15 18：15－19：00
	C園	保育標準時間 7：00－18：00
		保育短時間 8：30－16：30
		保育標準延長時間 18：00－19：00
		保育短時間延長時間 16：30－19：00
認定こども園（1号・2号認定）	保育部（2号認定）	保育標準時間 7：15－18：15
		保育短時間 8：30－16：30
	幼稚部（1号認定）	教育標準時間 8：40－14：00
		長期休業中預かり保育 7：30－17：15
		一時預かり保育 8：40－16：30
幼稚園（1号認定）		教育標準時間 8：40－14：00
		年間預かり保育時間 7：30－17：15
		長期休業中預かり保育時間 7：30－17：15
		一時預かり保育時間 14：00－16：30

7：00　8：00　9：00　10：00　11：00　12：00　13：00　14：00　15：00　16：00　17：00　18：00　19：00

クラス別保育・活動・遊びなど　おやつ　遊び

給食準備 給食 片付け

ひるね

着替え 起床

おやつ

遊び

遊び

クラス別保育・活動・遊びなど

3歳児ひるね 4・5歳児遊び (夏季はひるねあり)

遊び

遊び

乳児と幼児では保育の流れが異なります

遊び

給食準備 給食 片付け　ひるね

おやつ

遊び

登園

異年齢児との遊び

クラス別保育・活動・遊びなど

給食準備 給食 片付け

3歳児ひるね

おやつ

異年齢児との遊び

降園

朝の支度など自分でできることは自分で行います

栄養バランスも良く温かい給食が食べられるのはいいですね

4・5歳児遊び

おやつ

異年齢児との遊び

異年齢児との遊び

クラス別保育・活動・遊びなど

給食準備 給食 片付け

遊び

生活の流れは幼稚園、保育園とほとんど同じですね

異年齢児との遊び

降園

園の活動はどのように支えられているのですか？

保護者との連携

園の活動は、保護者と地域の方々のご協力によって支えられています。保護者との連携としては、次のようなことがあります。

- 個人面談
- PTA 活動
- 参観会
- 各行事への参加
- 送迎時のコミュニケーション
- Web 上で活動を公開
- 園だより、学級だより
- 活動の情報公開　・・・など

保護者による野菜栽培の指導

園の様子がよくわかりいいですね

園の活動を写真や言葉で紹介しています

運動会

祖父母参観

発表会

夏祭り

地域との連携

地域との連携としては、次のようなことがあります。

- 未就園児の会
- 近隣への散歩
- 町内施設への見学・体験
- 近くの学校との交流　・・・など

園により保育内容は異なっています。

高校生と芋のつるさし体験

牛舎見学（散歩）

町内施設への園外保育

地域の方によるブックトーク

プラネタリウムの見学

柏谷公園（散歩）

図書館見学

中学生の職場体験

乗車体験（園外保育）

地域の人たちもいろいろ協力しているのですね

遊びが学びってどういうことですか？

幼児期の子どもの活動の中心は、遊びです。子どもは、体、心、頭のすべてをはたらかせて身近な人、もの、ことに関わって遊びます。遊びながら、楽しいこと、むずかしいことに出会い、それを基に試しては失敗し、繰り返してやりとげようと無我夢中になります。

遊びは、音楽、数量、図形や文字、道徳性、社会性などを子どもが実感し、身に付けることができる教育の場であり、学びの芽生えとなる大切な時間、場面です。

興味・関心　意欲

なんだろう？
どうしてかな～？
むずかしいな
やってみたいな
できるかな

達成感　自信　協同性　など

やってみたよ
たのしいな
やった～！できたよ
もっとやってみよう
すごい！うれしいな

どんなことをしているのかな？

子どもが学んでいる様子をみてみましょう。

★生き物探し　虫に親しみをもち、**「飼ってみたい」「何を食べるのか」など興味や関心が広がってきます。**

★生き物を大切に扱い、**命の大切さ**を知ります。

★**図鑑で調べたり、友達に知っていることを伝えたり**して生き物を飼育します。

★積み木やブロック　遊ぶことで**想像力**をはたらかせて作ったり、**色や形、大きさの違いに気付いたり**します。

★**友達と一緒に作り上げたことで喜びを味わう**ことができます。

★**「貸して」「いや」などトラブル**があった時は保育者の支援によって、**人との関わり方**を学んでいきます。

★電車ごっこ　**運転手さんやお客さんになりきって遊ぶ**ことを楽しみます。

★遊びに必要な**言葉のやりとり**を通して、**役の交代や順番を守る、並ぶなどの約束を守って**遊ぶ姿も見られます。

★電車ごっこの遊びに**必要な物を考えて作ったり、自分たちで遊びの準備をしたり**するようになります。

★砂場遊び　**どんな道具を使ったらいいのか選んで**遊びます。

★砂や水などの**感触を感じ**ながら遊びます。

★**友達と一緒に**、何回もやり直したり、試行錯誤したりしながら、作り上げることで、**満足感を味わい**、自信を深めていきます。

★お店屋さんごっこ　**役割の分担を自分たちで話し合い、遊びを進めていく**ようになります。

★お店に必要な物を考えて作ります。その中で、**友達とトラブルになることもあり、話し合ったり、我慢したり、自分たちで折り合いをつけて**遊ぶようになります。

★「本物のお店屋さんのようにしたい。」という思いから、**お店の仕組みやお金、看板などにも気が付き社会生活との関わりや文字や数などにも関心が広がり**ます。

★絵本遊び　お話の世界に出てくるものを作って遊びを楽しんでいます。**豊かな感性や表現する力が育って**きます。

★招待状づくり　年長児になると、遊びの招待状などを**自分たちで考えて作ります。文字への興味・関心が自然に身についてきます。**

子どもの遊びには学びの要素がたくさんつまっているんですね。

幼稚園等においては、子どもたちに遊びを通して資質･能力を育んでいること、その資質･能力は小学校以降の学習や生活の基盤となっていること等について、子どもたちの遊んでいる姿や幼児教育施設と小学校の先生のインタビューを交えながら解説しています。

遊びは学び 学びは遊び
“やってみたいが 学びの芽”
これは、文部科学省が作成した動画です。

先生は園で
どのような仕事をしていますか？

３歳児から５歳児の担任を例にした出勤から退勤までの大まかな一日の流れです

出勤から登園までに

- 教室の換気、消毒、テラスや園庭などの掃除、見回り（遊具の安全確認も含む）、花壇の水やりをします。
- 予定の確認、打合せ、引継ぎをし、子どもを迎え入れます。

保育・活動の時間

- 子どもたちの遊びを見守り、活動や様子に合わせて支援をしています。
- 活動後、振り返る時間を設け、子どもの思いをじっくりと聞いています。
- その日の気温・湿度など状況に応じて、水分補給の声かけや排泄を促す声かけなどをしています。子どもが、楽しく体調良く過ごせるよう配慮します。

給食の時間

- 給食の 30 分前に検食をして安全を確かめます。
- トイレ、手洗いやうがいの声かけをし、テーブルを拭き、消毒します。
- 子どもと一緒に食事をしながら、椅子の座り方、箸や茶わんの持ち方などが正しく身に付くように繰り返し声をかけています。
- お昼寝の準備（ある場合）、子どもの様子を見て、お話や読み聞かせ、子どもが眠ったら連絡帳への諸連絡を記入しています。

降　園

- 給食後、室内や園庭での自由遊びの見守りをします。
- 帰りの準備が整うと絵本の読み聞かせや一日の活動の振り返りを行い、明日の登園が楽しみになるようにしています。
- 保護者に引き渡す際には一日の活動を伝え、子どもが話をしたときに伝わりやすいように配慮しています。
- けがをした場合や体調面で伝えたいことがあるときには、全体の話の後に個人的に声をかけるようにしています。

降園後

- 室内の清掃、消毒、整理のほか、トイレ掃除を行います。
- 子どもたちの製作物を壁面に掲示したり、季節に合わせた教室づくりをしています。

わたしたちは、一日一日の保育・活動で子どもの「○○したい」を大切にしています。子ども自身が遊び・活動をつくっていけるように、子どもの思いを大事にして支援します。
遊びには、国語や算数のように学習内容を示した教科書はありません。遊びを通して、子どもたちが自ら考えることで学びの根っこが育ちます。
その実現のために、次のようなことをしています。

子どもが登園したら保護者から健康観察カードを受け取り、子どもの表情を見ながら体調確認をします。いつもと違う表情をしていたり、体調など気になることがある場合はその場で確認したりします。

一日の保育・活動が終わるとその日を振り返りながら保育記録を記入し、次の日の活動内容を考えます。打合せの時間などを使って、子どもがより楽しく活動に夢中になれるように考えています。活動に必要と予想される支援について相談し、道具などを準備します。

子どもと一緒に活動する中で、表情を観察したり、つぶやきを聞いたり、遊んでいる仲間とのやり取りを見ています。そして、子どもの思いが広がり、深まる活動になるように支援します。

子どもが遊び込む姿から、わたしたちは興味がどこにあるのかを探りながら次の遊びの予想をします。その遊びを実現するために必要な活動や環境・援助を考えて指導計画を作成しています。

よりよい保育の実現や、職員のスキルアップのために園内外の研修に参加し学んでいます。学んだことは職員で共有し、保育に生かしています。園内外の研修会に参加し、子どもの姿や保育課題の意見交換を行うことでよりよい保育をめざしています。

子どもはどのように育っていきますか？

園児は遊びや生活の様々な体験を通して、人と関わる力や思考力・感性・表現する力などを育んでいきます。それは人間として、社会と関わりをもって生きていくための土台となります。子どもが育っていく様子を大まかに下の表にまとめてみました。

０歳から６歳までの発達段階と支援の仕方

就学 ⇒ 社会へ

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	５歳児後半
健やかに伸び伸びと育つ		自立心が育つ		主体性が出てくる		

発達の特徴

あたたかい　いい気持ち
身近な人と安心してすごせることを喜びます。

あれ　なあに？
自分の気持ちを身振りや指差しで伝えます。

なにかな　なにかな
物に触れ、音、形、色、手触りを感じます。

みんなと　一緒
大人の真似をしたがります。自我の芽生えが出てきます。

おはなししたいな
絵本や紙芝居を喜んで見ます。片言で話すようになります。

これ　なあに？
興味ある所へ自分で移動し触ったり、なめたりするなど一人遊びをします。

ヤダヤダしないで
指切りげんまん
簡単な約束の中で遊びます。

おしゃべりするの楽しいな
簡単な言葉を覚え言葉のやり取りを楽しみます。

さわってみたい
やってみたい
興味をもった遊びを繰り返し楽しみます。

ごめんね　いいよ
ありがとう
約束やルールを守ろうとします。

せんせい　あのね
自分の思いを自分なりの言葉で伝えようとします。

何をしているの？
遊びに集中します。友達と一緒に遊びます。

約束ってだいじだね
相手の気持ちを理解し、善悪の判断が出てきます。

ねぇねぇ聞いて
自分の思いや感じたことを言葉で伝え、人の話に関心をもって聞こうとします。

なんで？どうして？
友達と一緒に工夫して遊びます。

みんなで決めよう守ろうよ
友達と折り合いをつけて、ルールを考えるようになります。

そうなんだ・・・
ぼくはね　わたしはね
友達と考えを伝え合い、遊びに取り入れようとします。

考えてためしてみよう
共通の目的に向かい、友達と考え工夫した遊びを楽しみます。

支援

子どものしたいことやしたことに共感し外界への意欲を育てるようにします。

生活の安全を図りながら、自分でしようとする気持ちを大切にします。

自我を育む時期なので子どもの思いを受け入れます。

友達との遊びをつなぎ、人との関わりを楽しいものにします。

相手を受け入れることや目的達成の実感が得られるようにします。

友達を認める気持ちを育て、協同的な学びにつながるようにします。

家庭での保護者の関わり

抱っこして目を見ながら話しかけます

親子の触れ合いの時間を大切にします

歌を歌ったり絵本を読んであげたりします

「おはよう」「ありがとう」などあいさつをします

子どもとたくさん話します

安全に遊びを楽しむように見守ります

基本的な生活習慣を大事にします

「助かったよ」「ありがとう」など感謝の気持ちを伝えます

目的に向かってがんばっている姿をほめます

「がんばったね」などの声かけをします

就学に向けた生活づくりを心掛け、実践していけるように支援します

家族や身近な地域の人との関わりの中で、相手の気持ちを考えて行動できるように見守ります

小学校に向けて、心の準備や生活リズムを整えます

園との連携を踏まえた小学校教育

年長後半期

もうすぐ１年生

基本的な生活習慣や社会的なルールなど、子どもが学校生活になじんでいくことができるような支援をしていきます。

年長から小１に向けての支援

１人でも欠席者の報告ができるように練習します。

くつ箱や教室の中など、自分たちで掃除します。

交通教室で通学路を歩いてみます。

小学１年 ４月～７月

小学校生活に慣れるように

小学校入学に向けて園でやっていたことを取り入れながら、小学校生活に徐々に慣れていくようにしていきます。

小学校では、園訪問・１年生の授業参観・園の保育者との意見交換をもとに、指導にいかしています。

子どもの発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫しています。

15 分単位など短時間を単位とした学習時間を取り入れたり、活動性のある学習活動を行ったりしています。

６月～７月　１年生の授業参観
卒園児の様子を保育者が参観します。

６月～７月　情報交換会
小学校と園が連携し、情報交換をします。

保育園・こども園・幼稚園に入るとどんな力が育ちますか？

小学校へ上がるのに必要な生活や学習の基礎となる力が育ちます。

幼児期に育てたい力

学校教育へ

- 知識及び技能の基礎
- 学びに向かう力・人間性等
- 思考力・判断力・表現力等の基礎

- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 社会生活との関わり
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 言葉による伝え合い
- 協同性
- 思考力の芽生え
- 健康な心と体
- 豊かな感性と表現
- 自立心

園での保育

深い愛情　信頼

家庭はすべての教育の出発点

14園のご協力の下、写真提供と文言の改訂をしました。

令和７年３月発行